

画面で見るマニュアル

iVDR-S アダプター
RHDM-UT シリーズ



INDEX

準備する

動作環境を確認する	2
アダプターの使いかた	5
つなぎかた / 取り外しかた	6
インストールする	10

ダビング / ムーブする

iVDR にダビング / ムーブする	14
視聴年齢制限番組のダビング設定をする	20
iVDR からムーブする	22
本製品を 2 台使ってムーブする	24
動画を編集する	26
コンテンツを削除する	27
コンテンツをリネームする	28
iVDR をフォーマットする	29

再生する

録画した番組をパソコンで見る	31
コンテンツサーバーとして利用する	32

データ用 HDD として使う

データ用 HDD として使う	33
データ用 HDD を初期化する	33

困ったときには

よくあるご質問	35
アフターサービス	39

準備する

ダビング / ムーブする

再生する

データHDDとして使う

困ったときには

準備する

動作環境を確認する

※より詳しい対応機種情報は対応検索エンジン「PIO」をご覧ください。 <http://www.iodata.jp/pio/>

Wooo で使う場合

日立 液晶テレビ Wooo 録画用 USB ポート搭載モデル

対応メディア (Wooo で録画する場合) 弊社製および各社 iVDR 準拠カセット HDD

ご注意

●記載内容について

- 本紙の手順は、Wooo L32-G2 シリーズの例で記載しています。お使いの機種によって手順が異なる場合があります。また、イラストや画面表示は実際と異なる場合があります。

●登録 / 録画した番組について

- 本製品に iVDR をセットして Wooo ではじめてご利用になる際は、Wooo で iVDR を登録する必要があります。登録すると、iVDR 内のデータはすべて消去されます。すでに保存したデータがある場合は、必要に応じて他の HDD や DVD などにバックアップしてから登録してください。(登録ははじめて接続するときのみで、次回からは必要ありません。)
- iVDR-S 方式以外の方法で録画した番組が保存されている iVDR を、他の AV 機器につないで番組の再生はできません。他の AV 機器に登録すると、すでに保存されている番組データはすべて消去されます。
- iVDR-S 方式以外の方法で録画したコンテンツは、Wooo 専用のコンテンツになります。Wooo で登録、初期化をすると、Wooo 専用フォーマットになります。
- 故障などの理由で、iVDR を交換した場合は、交換前に録画した番組を視聴することはできません。

●使用について

- テレビを視聴していなくても、番組表の更新でテレビの電源が内部的にオンになることがあります。この場合、本製品の電源もオンになります。
- iVDR への録画中などに誤って iVDR の取り外しや、本製品の電源をオフにすると、データの破損、本製品の故障の原因となりますのでご注意ください。

Wooo につなぐ場合は、[【Wooo につなぐ場合】\(6 ページ\)](#) をご覧ください。

iVDR に保存したコンテンツをパソコンで見る場合

OS (日本語版のみ)	<ul style="list-style-type: none"> Windows 8.1、8.1 Pro (32bit/64bit) Windows 8、8 Pro (32bit/64bit) (「ハイコントラストテーマ」選択時は再生できません。) Windows 7 Home Premium、Professional、Ultimate (32bit/64bit) (Windows Aero 動作が必須となります。) Windows Vista Home Premium、Ultimate SP2 以降 (32bit/64bit) (Windows Aero 動作が必須となります。) <p>※ .NET Framework 3.5 SP1 がインストールされている必要があります。 ※ 上記 OS 以外、および以下のような動作環境での使用については動作保証およびサポートの対象外となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> Windows 7 Professional および Ultimate 上の Windows XP Mode での使用 各種リモートデスクトップ環境での使用 Intel Mac や各種仮想環境ソフトウェアにより構成された Windows 環境での使用 <p>※ デスクトップアプリケーションのため、Modern UI 上での動作は致しません。</p>
CPU	インテル® Core™ i5 2.0GHz 以上、または同等以上の互換 CPU を推奨
グラフィックス (GPU)	インテル® HD グラフィックス 2000 以降 ATI Radeon™ HD 4600 以上 NVIDIA Geforce 9600 GT 以上 ※ COPP 対応の高性能グラフィックスボードおよび、COPP 対応グラフィックスドライバーが必要です。 ※ DVI-D または HDMI 接続の場合は、HDCP 対応のグラフィックスボードが必要です。 ※ アナログ RGB 接続には対応していません。
メモリー	2G バイト以上必須
HDD 必要容量	100MB 以上
サウンドデバイス	Microsoft MME または WDM に準拠した Windows 互換サウンドデバイス必須
ディスプレイ	1024 × 768 ピクセル以上 High Color 以上 ※ DVI-D もしくは HDMI で接続した HDCP 対応のディスプレイが必要です。HDCP 未対応のディスプレイ、アナログ RGB ディスプレイでは表示できません。
インターネット接続環境	必須 ※ ブロードバンド接続推奨。保護されたデジタル番組の再生許可のためのアクティベーションに利用します。

準備する

ダウンロードする

再生する

データHDDとして使う

困ったときには

ご注意

● DiXiM Digital TV 2013 iVDR Edition のご注意

- 本製品がお使いのパソコンに接続されている必要があります。
- コンピューターの管理者権限が必要です。また、複数台同時に使用することはできません。
- リモート視聴機能 (DTCP+) には対応しておりません。
- 1 台のパソコンで複数のディスプレイをお使いの場合は、プライマリーのディスプレイ以外は再生できません。また、2 つの画面に同じ内容を表示する「ミラーモード」ではプライマリーディスプレイであっても再生できません。
- Wooo で録画した番組とパソコンのデータを共存することはできません。

DiXiM Digital TV 2013 iVDR Edition に関するお問い合わせ

弊社では「DiXiM Digital TV 2013 iVDR Edition」に関するサポートはおこなっておりません。

「DiXiM Digital TV 2013 iVDR Edition」の使い方や不明な点は、株式会社アスクにお問合せください。

詳しくは、[【アフターサービス】\(39 ページ\)](#) を参照してください。

iVDR のコンテンツをパソコンで見る場合は、[【インストールする】\(10 ページ\)](#) へお進みください。

データ用 HDD として使う場合

USB 3.0/2.0 を装備したパソコン

※弊社製 USB 3.0/2.0 インターフェイスを装備したパソコンを含む

Windows パソコン	Windows 8.1 (32 ビット版 /64 ビット版)
	Windows 8 (32 ビット版 /64 ビット版)
	Windows 7 (32 ビット版 /64 ビット版)
	Windows Vista (32 ビット版 /64 ビット版)
Mac	Mac OS X 10.6 ~ 10.9

※ USB 3.0 インターフェイスでの動作は、弊社製 USB 3.0 インターフェイスにおいて確認しています。動作対応については、各インターフェイスメーカーにお問い合わせください。

※ USB 3.0 でご使用いただくには、USB ポートおよび OS が USB 3.0 に対応している必要があります。対応していない場合は、USB 2.0 として動作します。

データ用 HDD として使う場合は、[【データ用 HDD として使う】\(33 ページ\)](#) をご覧ください。

準備する

ダウンロードする

再生する

データHDDとして使う

困ったときには

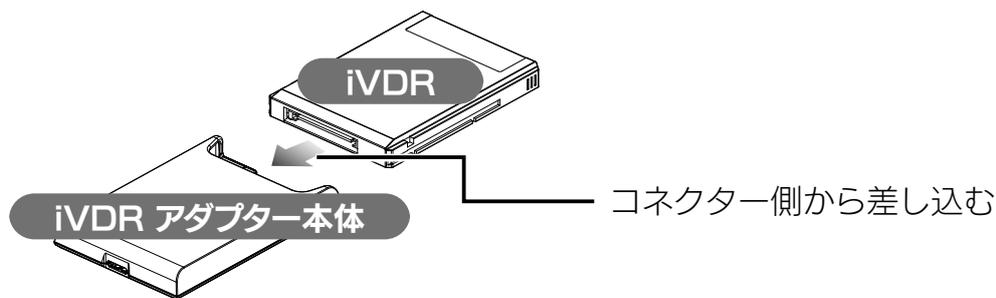
アダプターの使いかた

ご注意

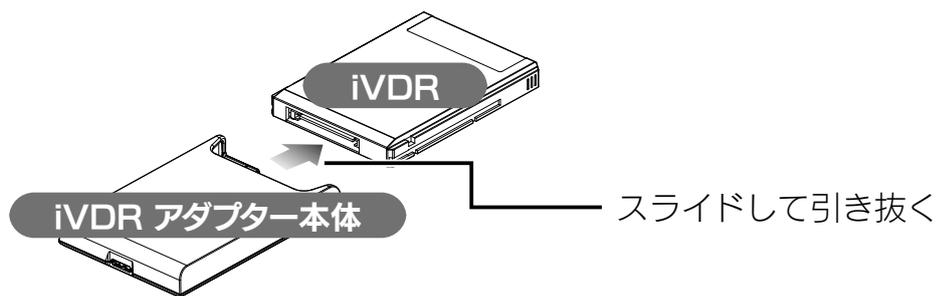
本製品に iVDR は付属しておりません。弊社製 RMS シリーズ等を別途お買い求めください。

<http://www.iodata.jp/product/hdd/portable/rms/>

iVDR をセットする

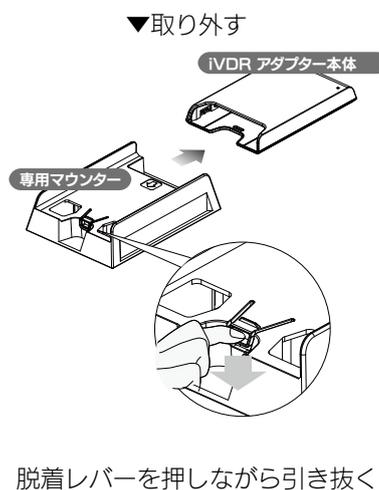
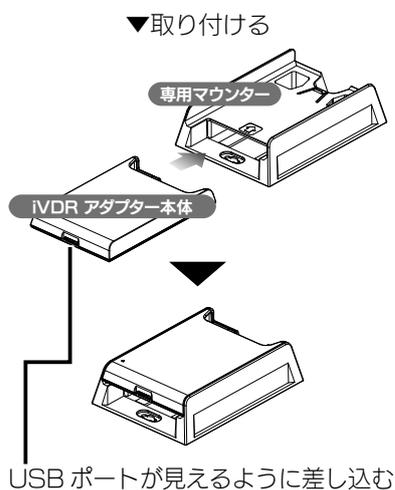


iVDR を取り外す



据え置きで使う場合

専用マウンターを使用すると、重量が増し、iVDR の抜き差しがスムーズにできます。



準備する

タビングノムアップする

再生する

データHDDとして使う

困ったときには

つなぎかた / 取り外しかた

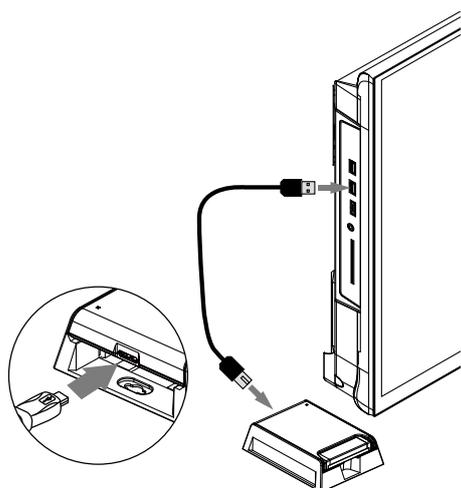
Wooo につなぐ場合

iVDR のセット方法

【アダプターの使いかた】(5 ページ) をご覧ください。

1 Wooo の電源を切る

2



添付の USB ケーブルで、
Wooo の USB ポートにつなぐ

※接続する USB ポートは、Wooo の取扱説明書でご確認ください。

ご注意

USB コネクターは接続できる向きが決まっています。接続しにくいときは無理せず、コネクターの向きをご確認ください。誤った向きで無理に接続しようとすると、USB ケーブルやパソコンの USB ポートが破損する恐れがあります。

これで接続は完了です。

このあと、Wooo にて登録をおこなう必要があります。詳しくは、別紙【Wooo 接続ガイド】、または、Wooo に付属の取扱説明書をご覧ください。

Wooo から取り外す場合

ご注意

- 録画中などに誤って取り外しをおこなうと、データの破損、本製品の故障の原因となりますのでご注意ください。
- Wooo から取り外すときは、以下にご確認ください。
 - 本製品のランプ（ステータスランプ）が点滅していないこと
 - 録画予約がないこと

Wooo のメニュー操作で、本製品を取り外せる状態にしてから取り外します。
メニュー操作については、Wooo の取扱説明書をご覧ください。

準備する

タビングノムプする

再生する

データHDDとして使う

困ったときには

パソコンにつなぐ場合

iVDR のセット方法

【アダプターの使いかた】(5 ページ) をご覧ください。

1



ご注意

USB コネクターは接続できる向きが決まっています。接続しにくいときは無理せず、コネクターの向きをご確認ください。誤った向きで無理に接続しようとすると、USB ケーブルやパソコンの USB ポートが破損する恐れがあります。

2

● Windows の場合

[コンピューター] や [マイコンピュータ] などに HDD のアイコンが増えていれば本製品を使用できます。

● Mac OS の場合

HDD のアイコンが増えていれば本製品を使用できます。

本製品の名称はフォーマット時に任意で入力したものになります。

アイコンが見つからない場合

【よくあるご質問】(35 ページ) をご覧ください。

Mac OS の場合

本製品をパソコンにつなぐと、Mac OS の仕様で Time Machine 機能の画面が表示されることがあります。

[消去] をクリックすると、本製品のフォーマットが始まりますので、誤ってデータを消さないようご注意ください。

※ Time Machine 機能については、Apple 社ホームページをご確認ください。

本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。故障や万一に備えて定期的にバックアップをお取りください。

これで接続は完了です。

準備する

タビタビノムノム

再生する

データHDDとして使う

困ったときには

パソコンから取り外す場合

ここではパソコン起動中に本製品を取り外す場合の手順を説明します。

● Windows の場合

- 1



①タスクトレイのアイコンをクリック

②本製品の表示をクリック

アイコンが表示されていない場合


 - 2

メッセージを確認し、画面の指示にしたがう
 - 3

USB ケーブルを取り外す
- ご注意**

USB ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らず、コネクタを持って抜いてください。

以上で完了です。

「I-O DATA iVDR-S Media Server」をインストールした場合

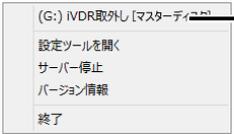
「I-O DATA iVDR-S Media Server」で取り外します。

- 1



タスクトレイのアイコンをクリック

Windows 8、7 の場合、タスクトレイにアイコンが隠れている場合があります。その場合はタスクトレイのボタンをクリックしてください。
- 2



「iVDR 取り外し」をクリック

本製品を 2 台接続した場合は以下のように表示されます。

 - 最初に接続した本製品 … [マスターディスク]
 - 2 番目接続した本製品 … [ローカルムーブ先]
- 3

「取り外しが完了しました」と表示されたら、本製品または iVDR を取り外す

● Mac OS の場合

1

本製品のアイコンをごみ箱に捨てる（ドラッグ&ドロップ）
本製品の名称はフォーマット時に設定したものです。

**ファイルメニューから取り外す場合**

[ファイル] メニューより [“xxxx” を取り出す] をクリックした後、取り外すこともできます。

※ [xxxx] にはフォーマット時に設定した本製品の名称が入ります。

2

USB ケーブルを取り外す

ご注意

USB ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らず、コネクタを持って抜いてください。

以上で完了です。

準備する

ダビング/ムーブする

再生する

データHDDとして使う

困ったときには

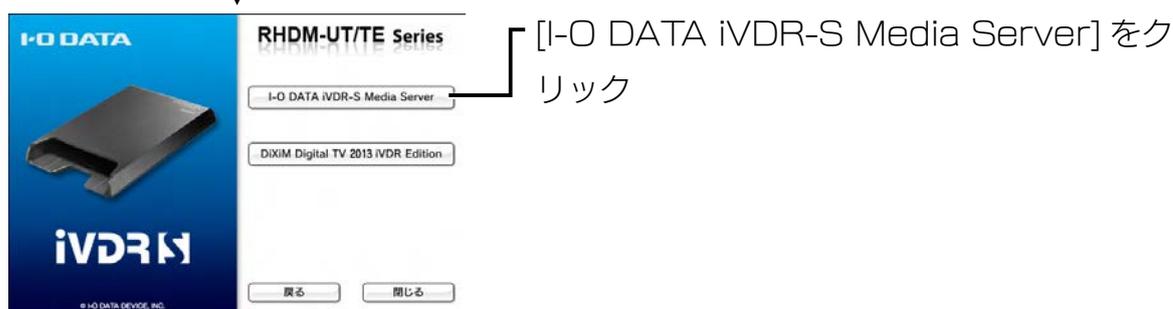
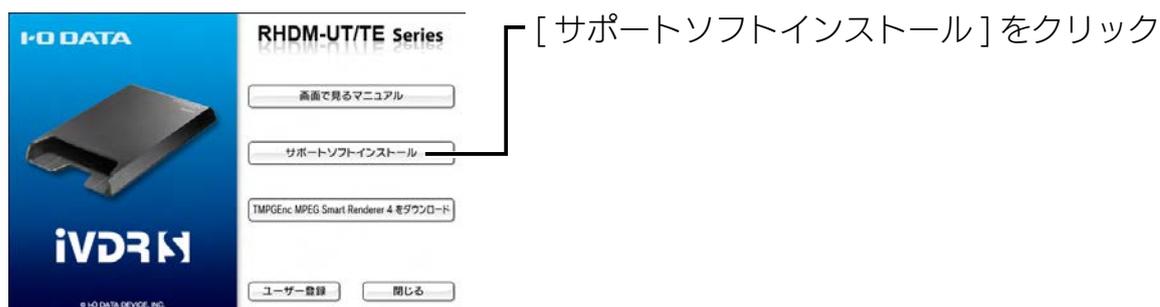
インストールする

- 1 パソコンがインターネットに接続されていることを確認する
- 設定時にインターネット環境が必要です**
インストール完了後はインターネット環境に関係なく番組を視聴することができます。

- 2 サポートソフトをダウンロードする
- サポートソフトのダウンロード方法**
- ①以下のサポートライブラリにアクセスする
<http://www.iodata.jp/lib>
 - ②「RHDM-UT」等で検索し、ダウンロードする
 - ③ダウンロードしたファイルを解凍する

- 3 解凍したフォルダー内の「MENU.EXE」をダブルクリックする
→メニュー画面が表示されます。

- 4 I-O DATA iVDR-S Media Server をインストールする
- ※「I-O DATA iVDR-S Media Server」は、パソコン2台までインストールできます。



はじめに[I-O DATA iVDR-S Media Server トレイツール]をインストールします。画面の指示にしたがってインストールします。

準備する

ダウンロードする

再生する

データHDDとして使う

困ったときには

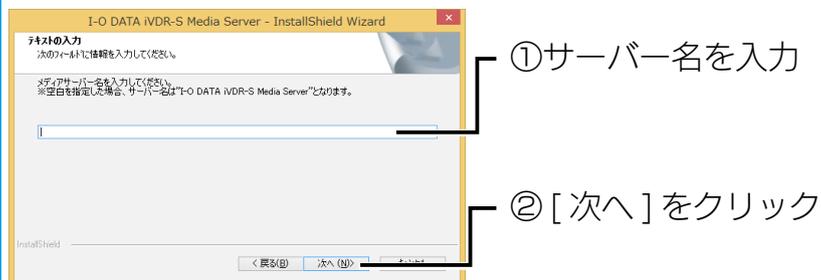
5

つづけて、[I-O DATA iVDR-S Media Server] のインストールがはじまりますので、画面の指示にしたがってインストールする

「I-O DATA iVDR-S Media Server」のサーバー名を指定できます

以下の画面でサーバー名を入力してください。

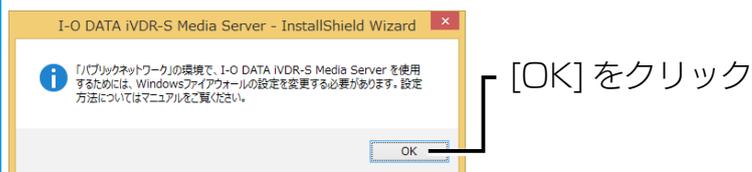
※空白で指定した場合、サーバー名は「I-O DATA iVDR-S Media Server」となります。



パブリックネットワーク環境でご使用の場合

Windows ファイアウォールの設定を変更する必要があります。

設定方法については、インストール後に [I-O DATA iVDR-S Media Server マニュアル] 内「Windows ファイアウォールの設定」をご覧ください。

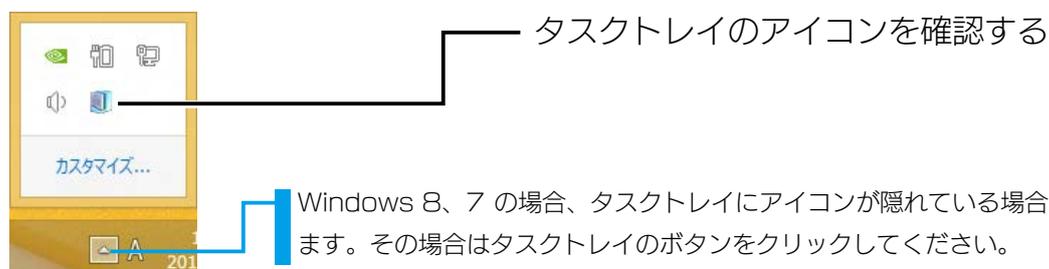


再起動を求められた場合

[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、パソコンを再起動してください。



6



I-O DATA iVDR-S Media Server の使用方法

スタートメニューにある [iVDR-S Media Server マニュアル] をご覧ください。

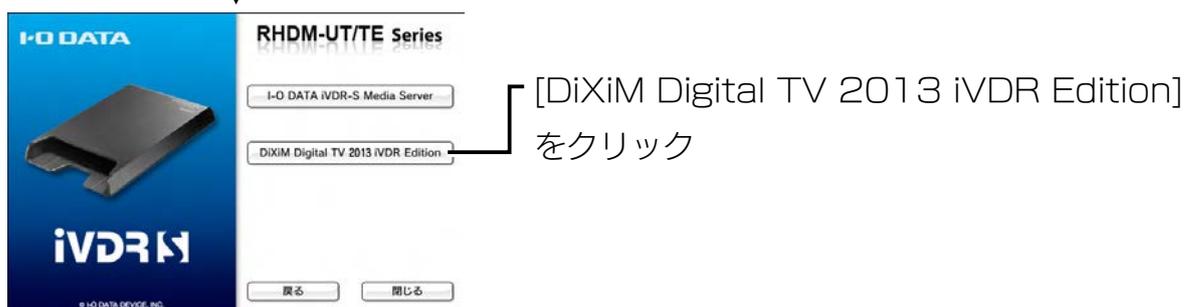
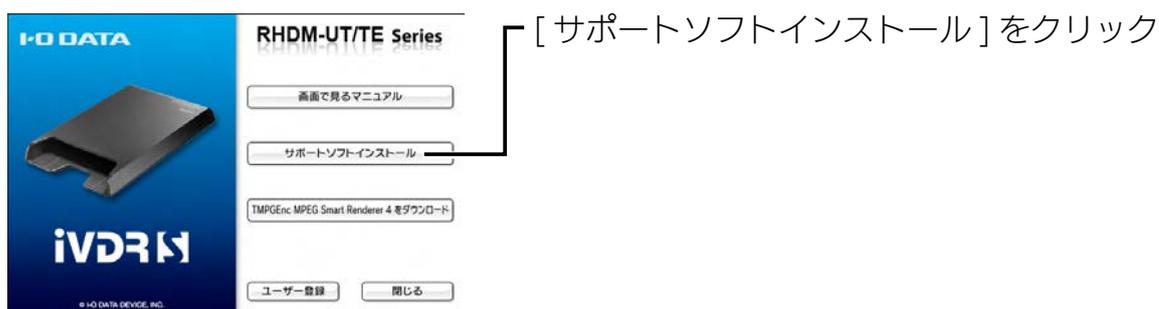


次に「DiXiM Digital TV 2013 iVDR Edition」をインストールします。
すでに「DiXiM Digital TV」または「DiXiM Digital TV Plus」がインストールされている場合は、これでインストールは完了です。

7 再度、解凍したフォルダー内の「MENU.EXE」をダブルクリックする

8 DiXiM Digital TV 2013 iVDR Edition をインストールする

※ 「DiXiM Digital TV 2013 iVDR Edition」は、パソコン2台までインストールできます。



画面の指示にしたがってインストールします。

Microsoft.NET Framework 3.5 SP1 が必要です

「Microsoft.NET Framework 3.5 SP1 をインストールしてください」と表示された場合は、事前に Microsoft 社のサイトからダウンロードし、インストールしておいてください。

シリアル番号が自動入力されなかった場合

お使いの環境によっては、シリアル番号が自動入力されない場合があります。その場合は、別紙【再生ガイド】に記載のシリアル番号を入力してください。

再起動を求められた場合

[はい、今すぐコンピュータを再起動します。]を選択し、パソコンを再起動してください。

お使いの環境によっては、2回再起動を求められる場合があります。



9



デスクトップのアイコンを確認

これでインストールは完了です。

準備する

タビタビノムーム

再生する

データHDDとして使う

困ったときには

I-O DATA iVDR-S Media Server の自動起動を解除する場合

I-O DATA iVDR-S Media Server には、iVDR-S を認識すると、DiXiM Digital TV 2013 iVDR Edition を自動起動する機能があります。本機能を利用しない場合は、以下の設定をおこなってください。

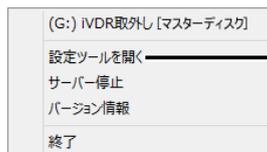
1



タスクトレイのアイコンをクリック

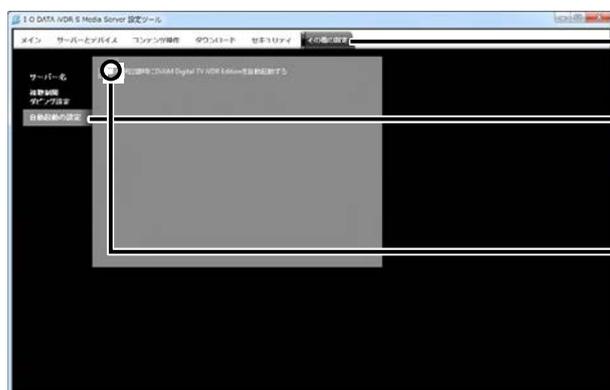
Windows 8、7 の場合、タスクトレイにアイコンが隠れている場合があります。その場合はタスクトレイのボタンをクリックしてください。

2



[設定ツールを開く] をクリック

3



① [その他の設定] をクリック

② [自動起動の設定] をクリック

③ [iVDR 認識時に DiXiM Digital TV iVDR Edition を自動起動する] のチェックを外す

これで、自動起動は解除されました。

ダビング / ムーブする

iVDR にダビング / ムーブする

ネットワークダビング / ムーブに対応したテレビや、弊社製 RECBOX に録画したコンテンツを iVDR にダビング / ムーブし、Wooo やパソコンで再生することができます。

ご注意

iVDR へネットワークダビング・ムーブしたコンテンツは、iVDR から他機器へのネットワークムーブはできません。コンテンツを転送する場合にはご注意ください。

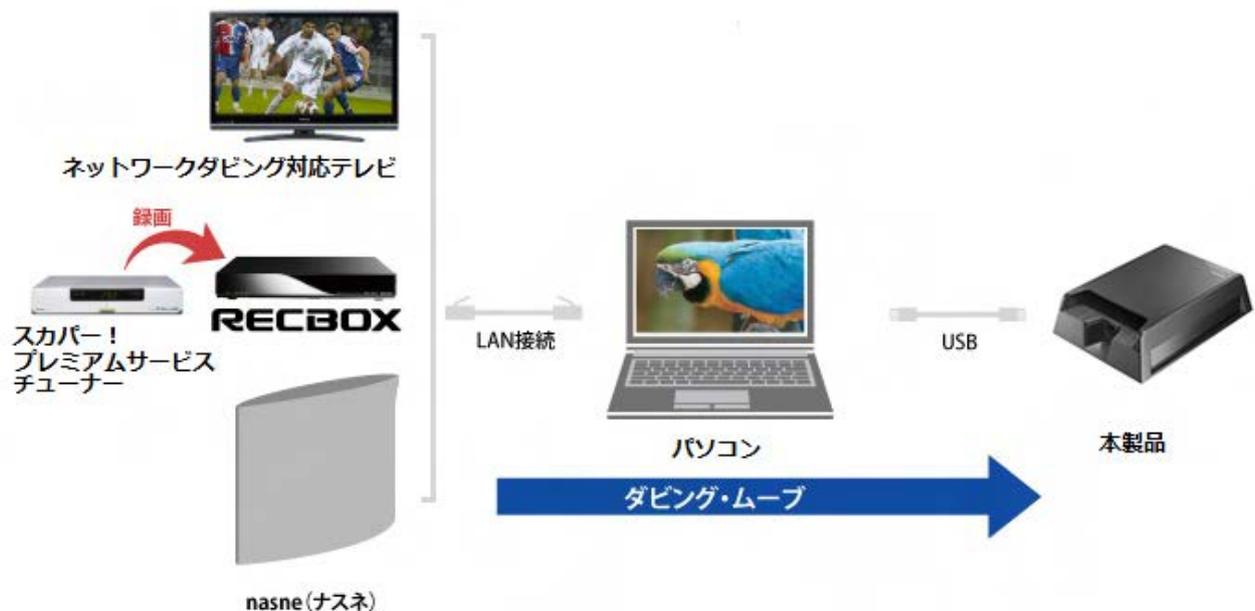
スカパー！プレミアムサービス Link のコンテンツをご利用の場合

- コンテンツを再生するには、H.264 に対応した再生環境が必要です。
- 録画およびダビングには対応していません。
- コンテンツは、「RECBOX」などの対応 DTCP-IP サーバーから iVDR にムーブできます。

ネットワークダビング / ムーブに対応したテレビや弊社 RECBOX を操作して、コンテンツを iVDR にダビング / ムーブします。

次ページ以降のダビング / ムーブの操作例をご覧ください。

※あらかじめ「iVDR フォーマット」済みの iVDR をセットしておいてください。フォーマット方法は、[【iVDR をフォーマットする】\(29 ページ\)](#) をご覧ください。



準備する

ダビング / ムーブする

再生する

データHDDとして使う

困ったときには

操作例 弊社製 RECBOX シリーズからダビング / ムーブする場合

1

RECBOX シリーズの設定画面を開きます。

※設定画面の開き方は、RECBOX の取扱説明書をご覧ください。

2



[コンテンツ操作] をクリック

3


 ムーブするコンテンツが保存された
フォルダをクリック

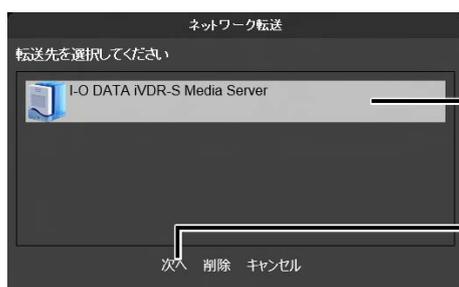
4



① ムーブするコンテンツをチェック

② [ネットワーク転送] をクリック

5


 ① [I-O DATA iVDR-S Media Server] ※
をクリック

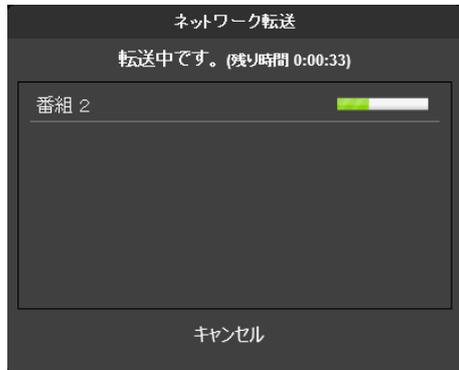
 ※サーバー名を変更した場合は、変更した名称が表示され
ます。

② [次へ] をクリック

6

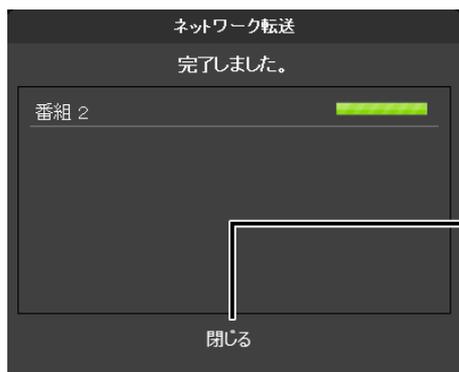


[開始] をクリック



ムーブを開始し、状況が表示されます。

7



[閉じる] をクリック

以上で完了です。

準備する

ダビング / ムーブする

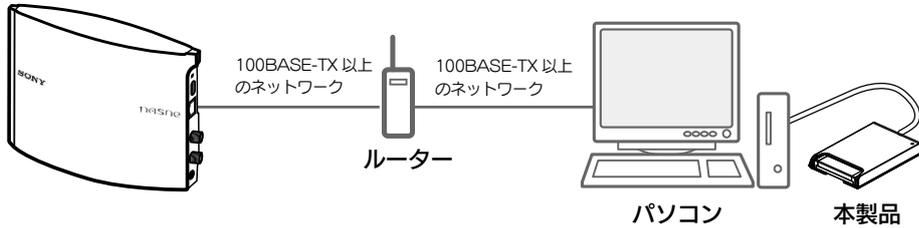
再生する

データHDDとして使う

困ったときには

操作例 nasne(ナスネ)TM やひかり TV から録画番組をダウンロード・ムーブする場合

nasne(ナスネ)TM やひかり TV の録画番組を、本製品へダウンロード・ムーブする場合は、下図のような同じネットワークに nasne(ナスネ)TM やひかり TV とパソコンが接続されている必要があります。



有線LANでも無線LANでも可能ですが、無線LANの場合は、無線LANの暗号化が有効になっている必要があります。

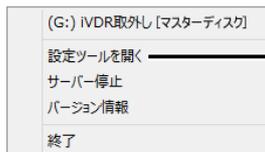
1



タスクトレイのアイコンをクリック

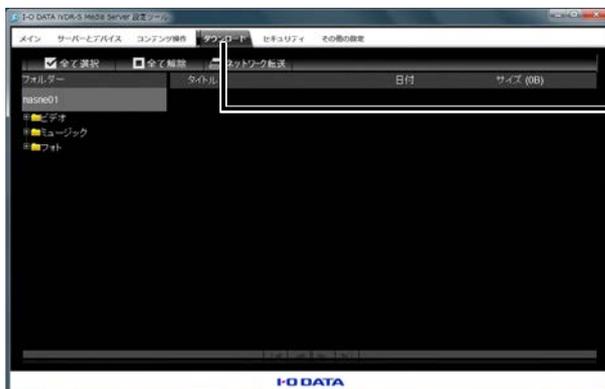
Windows 8、7 の場合、タスクトレイにアイコンが隠れている場合があります。その場合はタスクトレイのボタンをクリックしてください。

2



[設定ツールを開く] をクリック

3



[ダウンロード] タブを選ぶ

4



[ビデオ] フォルダを選ぶ

[ジャンル]、[日付]、[すべて] から、探しやすいフォルダを選択します。

準備する

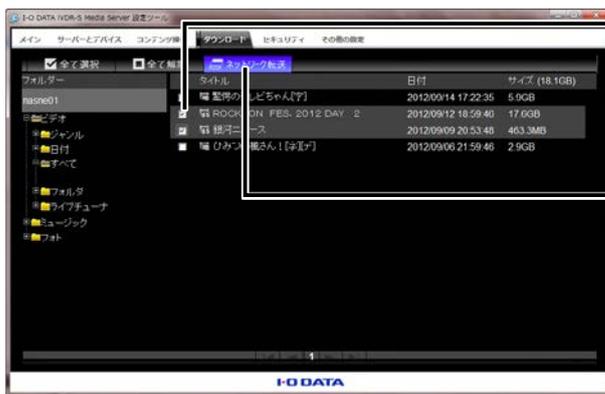
ダビング / ムーブする

再生する

データHDDとして使う

困ったときには

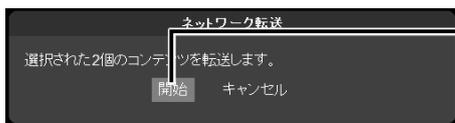
5



① ムーブするコンテンツをチェック

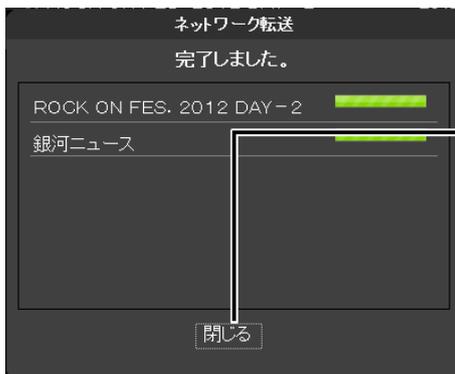
② [ネットワーク転送] を選ぶ

6



[開始] を選ぶ

7



[閉じる] を選ぶ

※ nasne(ナスネ)TM やひかり TV のコンテンツが、地デジなどのダビング 10 のコンテンツの場合は、コピーカウントが 1 つ減ります。有料などのノーモアコピーのコンテンツの場合は、削除されます。

以上で完了です。

準備する

ダビング / ムーブする

再生する

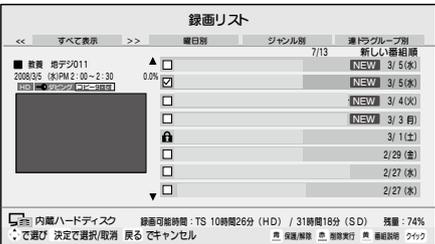
データHDDとして使う

困ったときには

操作例 東芝液晶テレビ (レグザ) からダビング / ムーブする場合

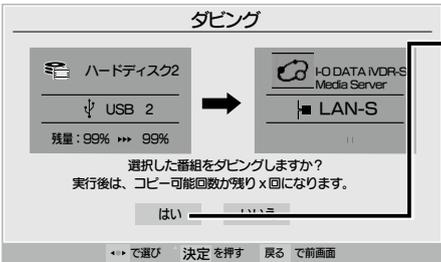
1 リモコンの[レグザリンク]を押し、[映像を見る / 機器選択]を選びます。

2  ダビングする番組のある機器を選ぶ

3  ダビングする番組を選び、[緑] (ダビング) を押す
※ 10 回目の転送時の場合、または、ダビング 10 非対応の場合、画面の表記が「ムーブ」になります。

4  「LAN-S」で表示される「I-O DATA ivDR-S Media Server」を選ぶ

※録画中や、移動先のハードディスクの容量が不足している場合はダビングできません。
※ダビング中は、録画や録画した番組の再生はできません。

5  [はい] を選ぶ

ダビングを実行します。
ダビング中は、その進行状況が画面右下に表示されます。
※ダビング中に録画予約の開始時間になりそうな場合は、ダビングできません。
※画面に表示される状況 (パーセント表示) は目安です。
※ダビング中は、本製品の録画ランプが赤色に点灯します。



以上で完了です。

視聴年齢制限番組のダビング設定をする

弊社製「RECBOX」内の視聴年齢制限番組のダビングをする場合は、iVDRに次の設定をおこなってください。

ご注意

この設定では、お子様に有害なコンテンツが、iVDRに記録される場合があります。
iVDRに記録されたコンテンツは、対応する再生機器で制限なく再生できますので、iVDRの管理には充分にご注意ください。

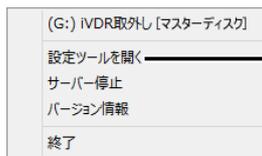
1



タスクトレイのアイコンをクリック

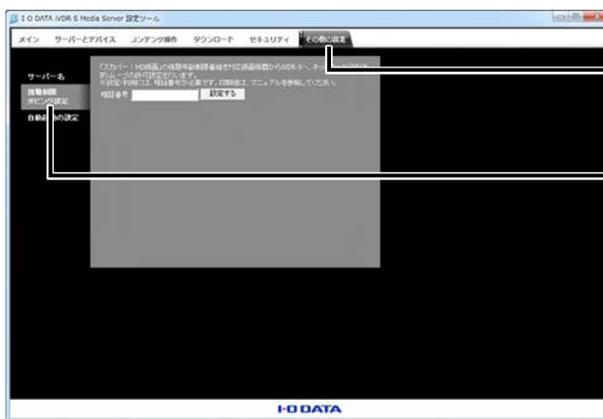
Windows 8、7の場合、タスクトレイにアイコンが隠れている場合があります。その場合はタスクトレイのボタンをクリックしてください。

2



[設定ツールを開く] をクリック

3



① [その他の設定] タブを選ぶ

② [視聴制限ダビング設定] を選ぶ

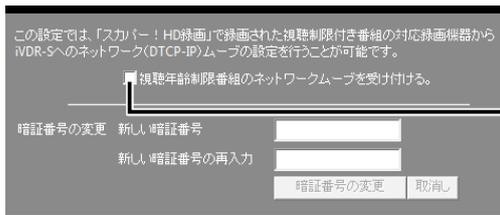
4



① 暗証番号を入力
※初期状態では暗証番号は「0000」

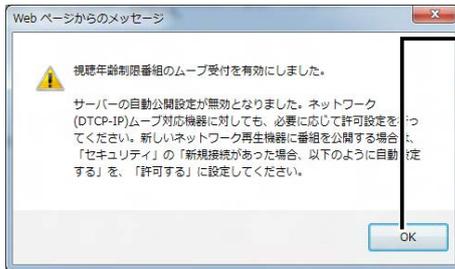
② [設定する] を選ぶ

5



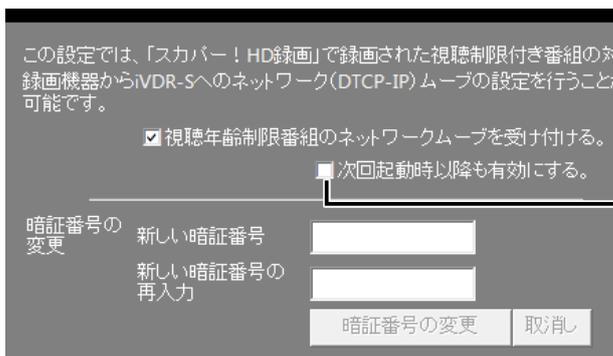
[視聴年齢制限番組のネットワークムートを
受け付ける] にチェック

6



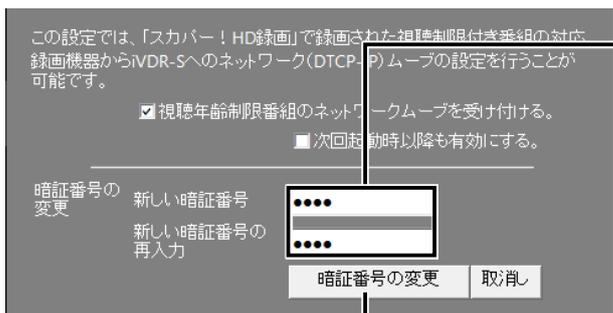
[OK] を選ぶ

7



次回起動時も視聴年齢制限番組の
ムートを受け付けるようにする場合は、「次回起動時以降も、有効にする」
にチェックをつける

8



①新しい暗証番号を入力

② [暗証番号の変更] をクリック

以上で完了です。

準備する

ダビングノムープする

再生する

データHDDとして使う

困ったときには

iVDR からムーブする

iVDR 内のコンテンツを、他の機器にムーブできます。

スカパー！プレミアムサービス Link のコンテンツをご利用の場合

録画およびダビングには対応しておりません。

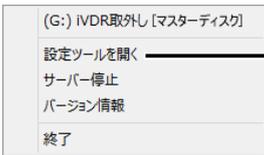
操作例

- 1



タスクトレイのアイコンをクリック

Windows 8、7 の場合、タスクトレイにアイコンが隠れている場合があります。その場合はタスクトレイのボタンをクリックしてください。
- 2



[設定ツールを開く] をクリック
- 3



[コンテンツ操作] をクリック
- 4



①ムーブするコンテンツをチェック

②[ネットワーク転送] をクリック
- 5



ムーブ先を選ぶ

準備する

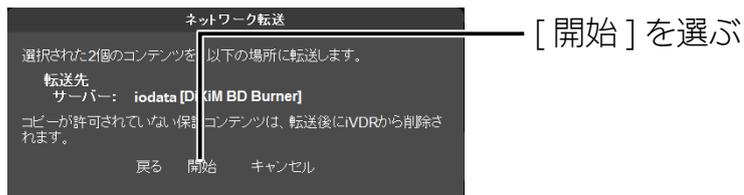
ダビング/ムーブする

再生する

データHDDとして使う

困ったときには

6



7



DiXiM BD Burner 2013 の場合

iVDR のコンテンツを「DiXiM BD Burner 2013」にムーブする際は、以下の設定をおこなってください。



以上で完了です。

準備する

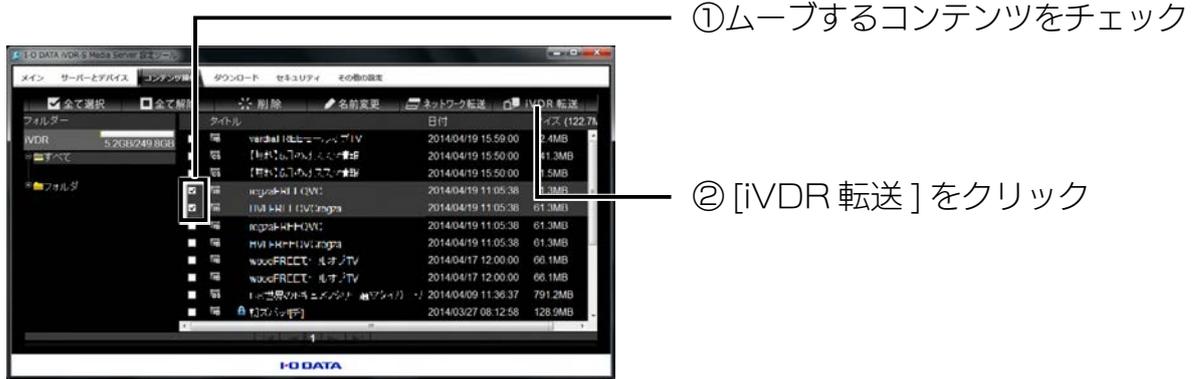
ダビング/ムーブする

再生する

データHDDとして使う

困ったときには

5



[iVDR 転送] が表示されない場合

パソコンに2台のiVDRが正しく接続されていない可能性があります。
正しく接続されていることを確認してください。

6



7



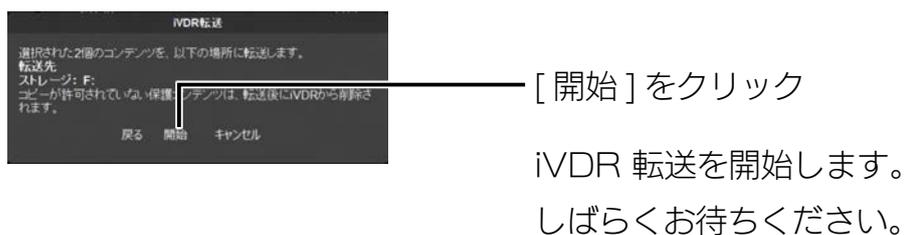
iVDR 転送モード

iVDR 転送モード中は、ネットワーク転送や、ネットワーク配信機能は利用できません。

8



9



これで iVDR 転送は完了です。

準備する

ダビング/ムーブする

再生する

データHDDとして使う

困ったときには

動画を編集する

「TMPGEnc MPEG Smart Renderer 4」は、ハイビジョンコンテンツをカット編集する専用ソフトウェアです。

- iVDR 上のハイビジョンコンテンツを 1 フレーム単位で、高精細カット編集が可能
- カット編集後の変換処理は必要最低限のエンコードのみおこなう“スマートレンダリング”仕様
- 編集点以外の映像品質を極力劣化させません

「TMPGEnc MPEG Smart Renderer 4」を使用するには

本製品添付の別紙【「TMPGEnc MPEG Smart Renderer 4」のご案内】*をご確認いただき、ダウンロード、ライセンス認証をおこないます。

※シリアル番号が貼付されていますので、大切に保管してください。

使用方法、サポートについて

「TMPGEnc MPEG Smart Renderer 4」の使用方法については、インストール後にヘルプをご参照ください。(起動後に[ヘルプ]をクリックします。)

お問い合わせについては、[【TMPGEnc MPEG Smart Renderer 4 に関するお問い合わせ】\(40 ページ\)](#)をご覧ください。

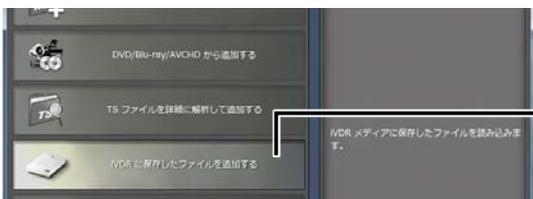
TMPGEnc MPEG Smart Renderer 4 の制限事項

TMPGEnc MPEG Smart Renderer 4 で編集した iVDR コンテンツは、ダビング/ムーブできない場合があります。動作確認機器は、各製品の仕様ページをご確認ください。

- RHDM-UT/TE の場合 <http://www.iodata.jp/product/hdd/portable/rhdm-utte/>

(参考) iVDR コンテンツの参照方法

以下は一例です。詳しくは、TMPGEnc MPEG Smart Renderer 4 のヘルプをご覧ください。

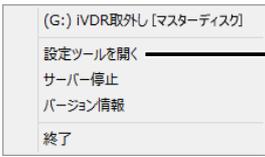
- 1 インストールした TMPGEnc MPEG Smart Renderer 4 を起動する
- 2  [新規プロジェクト]をクリック
- 3  [追加ウィザード]をクリック
- 4  [iVDR に保存したファイルを追加する]をクリック

あとは、画面の指示にしたがってください。

コンテンツをリネームする

- 1
 

タスクトレイのアイコンをクリック

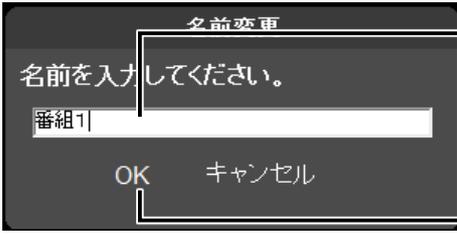
Windows 8、7 の場合、タスクトレイにアイコンが隠れている場合があります。その場合はタスクトレイのボタンをクリックしてください。
- 2
 

[設定ツールを開く] をクリック
- 3
 

[コンテンツ操作] をクリック
- 4
 

①リネームするコンテンツが保存されたフォルダーを選ぶ

②リネームするコンテンツにチェック

③ [名前変更] をクリック
- 5
 

①新しい名前を入力

② [OK] を選ぶ

これでリネームされました。

準備する

ダビング/ムーブする

再生する

データHDDとして使う

困ったときには

iVDR をフォーマットする

必要に応じて以下の手順でフォーマットしてください。

※弊社製 RMS シリーズは出荷時フォーマット済みです。

ご注意

- フォーマットするとデータは消去されます。本製品に必要なデータがある場合は、先に別の HDD などにデータをバックアップしてからフォーマットしてください。
- フォーマットしない HDD はできるだけパソコンから取り外してください。誤って他の HDD をフォーマットしないようご注意ください。

1

[I-O DATA ハードディスクフォーマッタ] を起動する

[I-O DATA ハードディスクフォーマッタ]

HDD をフォーマットするためのソフトウェアです。
以下の手順でダウンロードできます。

①以下のサポートライブラリにアクセスする

<http://www.iodata.jp/lib>

②「I-O DATA ハードディスクフォーマッタ」を検索し、ダウンロードする

③ダウンロードしたファイル (iohddfmtxxx.exe) を開く

※ xxx はバージョン番号

以降は画面の指示にしたがってインストールします。

2



①フォーマットする HDD を選ぶ

② [次へ] をクリック

表示される“容量”について

HDD の容量が表示されます。OS 上で表示される容量とは異なります。

3



① [UDF(iVDR)] を選ぶ

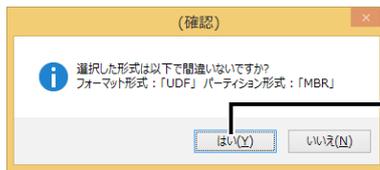
データ用 HDD として使う場合

各パソコンで使用可能なフォーマットを選択します。

[【フォーマット形式】\(33 ページ\) 参照](#)

② [次へ] をクリック

4



③ [はい] をクリック

準備する

ダビングノムアップする

再生する

データHDDとして使う

困ったときには



①内容をよく読み、[注意事項に同意します] を選ぶ

② [次へ] をクリック

ご注意

データが消えてしまうことにご注意ください。

初期状態に戻すため、HDD 内のデータはすべて消えてしまいます。大切なデータは他の HDD 等にバックアップしてください。

5



[実行] をクリック

6



[完了] をクリック

7

いったん本製品を取り外す

これでフォーマットは完了です。

再生する

録画した番組をパソコンで見る

インストールした「DiXiM Digital TV 2013 iVDR Edition」で再生します。

DiXiM Digital TV 2013 iVDR Edition の使用方法

スタートメニューにある [DiXiMDigitalTV 2013 のヘルプ] をご覧ください。



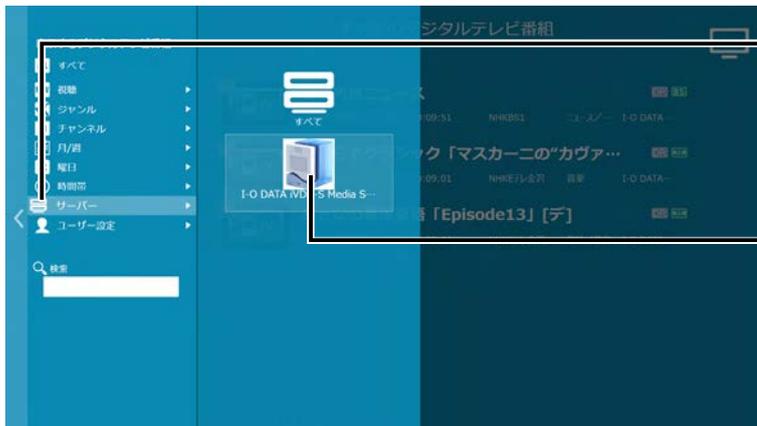
DiXiM Digital TV 2013 のヘルプ

1



デスクトップ上の [DiXiM Digital TV 2013] を開く

2



① [サーバー] をクリック

② [I-O DATA iVDR-S Media Server]* をクリック

*サーバー名を変更した場合は、変更した名称が表示されます。

再生時は本製品 1 台のみ認識されます

本製品を複数台接続しても、最初に接続した本製品内のコンテンツのみ認識されます。

3



再生するコンテンツをクリック

これで再生されます。

準備する

ダウンロードする

再生する

データHDDとして使う

困ったときには

コンテンツサーバーとして利用する

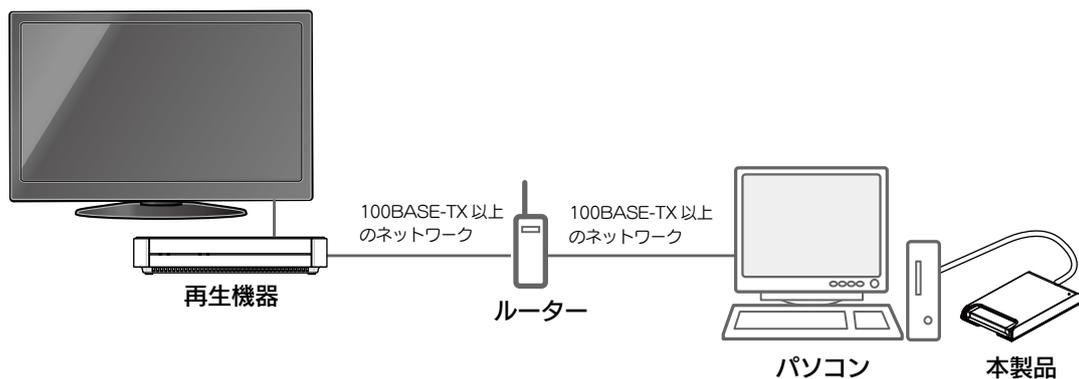
パソコンを iVDR コンテンツサーバーとして利用できます。

パソコンの画面が狭い時や、iVDR 環境がないところで大画面で楽しみたい時など、DLNA 対応 (DTCP-IP 対応) テレビやメディアプレイヤーなどで、iVDR-S のハイビジョンコンテンツが楽しめます。

▼動作確認機器

株式会社ソニー・コンピュータエンターテインメント製	PlayStation® 3 ※ PlayStation および PLAYSTATION は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
株式会社デジオン製	DiXiM Digital TV、DiXiM Digital TV plus、 DiXiM Digital TV 2013 for I-O DATA
株式会社アイ・オー・データ機器製	AV-LS700、HVT-BCT300、HVT-BCT300L

コンテンツサーバーとして利用するには、再生機器と本製品をつないだパソコンが下図のような同じネットワークに接続されている必要があります。



- 1 本製品をつないだパソコンを起動する
- 2 DLNA 対応 (DTCP-IP 対応) テレビやメディアプレイヤーを起動する
※方法は、各再生機器の取扱説明書をご覧ください。
- 3 「I-O DATA iVDR-S Media Server[※]」が認識されていることを確認する
※サーバー名を変更した場合は、変更されたサーバー名が表示されます。

再生手順などについては、お使いの機器の取扱説明書をご確認ください。

※再生中に別の機器で再生することはできません。

データ用 HDD として使う

データ用 HDD として使う

パソコンにつないで使用できます。

[【つなぎかた / 取り外しかた】 \(6 ページ\)](#)

iVDR のフォーマットが必要な場合があります

セットした iVDR が未フォーマットの場合は、本製品をつないだ後にフォーマットしてください。

フォーマット方法は、以下の [【データ用 HDD を初期化する】](#) をご覧ください。

準備する

データ用 HDD を準備する

再生する

データ用 HDD として使う

困ったときには

データ用 HDD を初期化する

ご注意

- Wooo で録画した番組とパソコンのデータを共存することはできません。
- 初期化するとデータは消去されます。
大切なデータが保存されている場合は、必ずバックアップしてから初期化してください。一度初期化すると、次回以降ご使用の際には初期化は必要ありません。接続してそのままお使いいただけます。
- 本製品以外の外付 HDD をできるだけ取り外してください。
初期化する際、本製品以外の外付 HDD の誤消去を防ぐため外しておくことを強くおすすめします。
- パソコンで初期化した場合、そのままの状態でも Wooo で録画はできません。
Wooo で録画する場合は、改めて Wooo に接続し、Wooo で初期化してください。データは消去されますので、必要なデータは事前にバックアップしてください。

フォーマット形式

NTFS	Windows 用のファイルシステムです。4GB 以上のファイルも保存できます。 Mac OS では読み込みのみ可能です。(保存はできません。)			
FAT32	Windows と Mac OS のどちらでも使用できるファイルシステムです。 4GB 以上のファイルを保存することはできません。			
exFAT	Windows と Mac OS のどちらでも使用できるファイルシステムです。 4GB 以上のファイルも保存できます。 Windows Vista SP1 以降、Mac OS X 10.6.5 以降に対応しています。			
Mac OS 拡張形式 (HFS+)	Mac OS 専用の形式です。4GB 以上のファイルも保存できます。 Windows では使用できません。Mac OS 上でフォーマットが必要です。			
	NTFS	FAT32	exFAT	Mac OS 拡張(HFS+)
Windows 8、7、Vista	読み込み / 保存 可	読み込み / 保存 可 ^{※1}	読み込み / 保存 可 ^{※3}	不可
Mac OS	読み込みのみ可	読み込み / 保存 可 ^{※1※2}	読み込み / 保存 可 ^{※4}	読み込み / 保存 可

※1 4GB 以上のファイルは扱えません。

※2 Mac OS でマウントすると時間がかかることがあります。

※3 Windows Vista SP1 以降に対応です。

※4 Mac OS X 10.6.5 以降に対応です。

Windows の場合

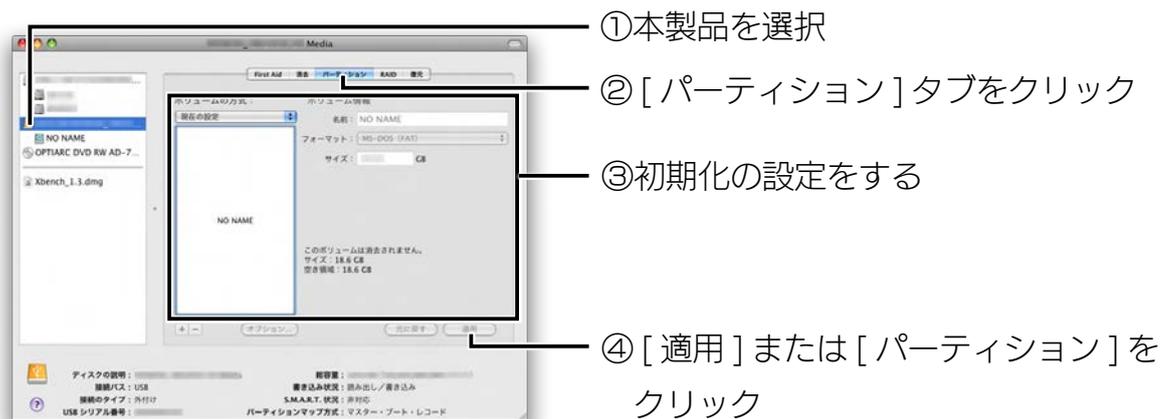
「I-O DATA ハードディスクフォーマッタ」をお使いください。

(参考) [【iVDR をフォーマットする】\(29 ページ\)](#)

Mac OS の場合

1 メニューから [移動] → [ユーティリティ] → [ディスクユーティリティ] をクリック

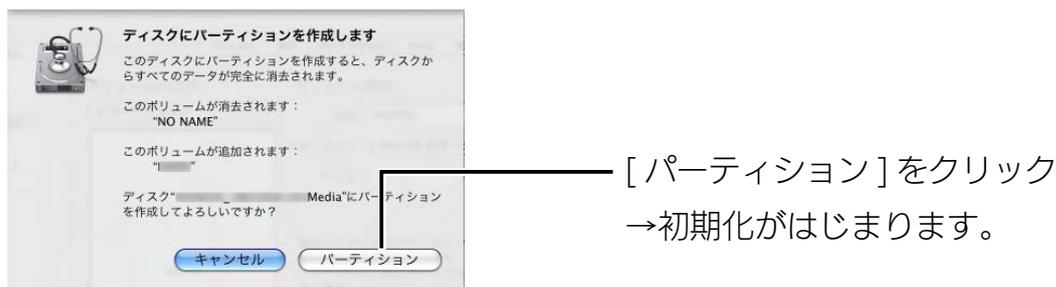
2



フォーマットの種類の選び方

- Mac OS のみで使用する場合は、「Mac OS 拡張」から始まる名称のフォーマットで、1 パーティションで使用することをおすすめします。「Mac OS 拡張」の場合、Windows では認識できません。
- Mac OS X でデータをコピーする際、コピー元とコピー先のフォーマットが異なると、エラーが発生する場合があります。その場合は、ファイル名 (文字や文字数) を変えてください。

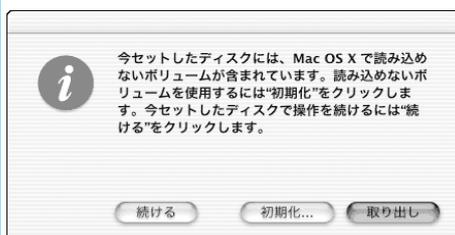
3



4

画面左上の [⌵] をクリックし、画面を閉じます。

以下の画面が表示された場合



【続ける】 ボタンをクリックします。

この画面は、表示されてからしばらく経つと消えます。本製品がパソコンに認識されなくなった場合は、パソコンに接続している USB ケーブルを一度抜き差ししてください。

以上で完了です。

困ったときには

よくあるご質問

フォーマットする場合

- Windows の場合、[【iVDR をフォーマットする】\(29 ページ\)](#) をご覧ください。
- Mac OS の場合、[【データ用 HDD を初期化する】\(33 ページ\)](#) をご覧ください。

本製品の電源ランプが点灯しない

- USB ハブに接続している場合は、USB ハブに電源を供給してご使用ください。
- 本製品はパソコンの USB ポートより電源が供給されます。電源の入っているパソコンに接続しないと本製品の電源が入りません。電源の入っていないパソコンに接続しても電源 / アクセスランプは点灯しません。

「取り外しできません」のメッセージが表示された

- 使用しているソフトウェアをすべて終了してから、取り外してください。それでも同じメッセージが表示された場合は、パソコンの電源を切ってから本製品を取り外してください。
- タスクマネージャーを開いている場合は、閉じてから取り外ししてください。
- 「I-O DATA iVDR-S Media Server」をインストールした場合、[【「I-O DATA iVDR-S Media Server」をインストールした場合】\(8 ページ\)](#) の手順で取り外してください。

ユーザーアカウント制御の画面が表示された

[続行] ボタンをクリックしてください。

本製品から OS を起動できない

本製品から OS を起動することはできません。

本製品のアイコンがない

- USB ケーブルの接続をご確認ください。接続する USB ポートを変えてください。USB ハブに接続している場合は、パソコンの USB ポートに直接、接続しなおしてください。
- (Windows の場合) [コンピューター] ([マイコンピュータ]) の [表示] → [最新の情報に更新] をクリックしてください。
- (Mac OS の場合) 次の手順で Finder の環境設定を確認してください。
 - ① [Finder] → [環境設定 ...] をクリックする
 - ② [一般] タブ → [ハードディスク] にチェック

本製品を接続するとエラー画面が表示される

「ハブポートの電力サージ」画面が表示されます。
本製品を取り外して、画面上の [リセット] ボタンをクリックしてください。
その後、USB ハブに接続している場合は、USB ハブに電源を供給して使用するか、パソコン本体の USB ポートに接続してください。

スタンバイ・スリープから戻ると、本製品が認識されていない

本製品を取り外し、もう一度接続してください。
それでも認識されない場合は、パソコンを再起動してください。

パソコンの電源を切ったのに本製品の電源ランプが点灯したままとなっている

パソコンによっては、電源を切ってもポートに電源が供給されている場合があります。
その場合は、本製品の電源は入ったままとなります。本製品を取り外してください。

本製品を読み書きしていると他の USB 機器が認識されない

この場合、すぐには認識されません。
本製品を使い終わってから、他の USB 機器を接続してください。

準備する

ダウンロードする

再生する

データHDDとして使う

困ったときには

本製品を接続した状態でパソコンを起動すると、起動の途中でパソコンが動かなくなる

- 本製品を接続したままでは起動できません。本製品を取り外した状態でパソコンを起動してください。パソコンが起動後に、本製品を接続してください。
- 接続と電源を確認してください。

USBポートから取り外す際に、警告が表示される

パソコンの電源が入っている状態でパソコンから本製品を取り外す場合は、取り外し手順をおこなった後に取り外す必要があります。

容量が残っているのに、ファイルを保存できない

1つのフォルダーに保存／作成できるファイル・フォルダーには限りがあります。保存できなくなった場合、別のフォルダーにファイルを保存してください。または、いくつかファイルを他の場所に移した後、その中にフォルダーを作り、保存してください。

「I-O DATA iVDR-S Media Server」がプレイヤーから認識されない

「I-O DATA iVDR-S Media Server」が公開となっていることをご確認ください。確認に関する詳しい手順は、「I-O DATA iVDR-S Media Server マニュアル」をご参照ください。

「DiXiM Digital TV 2013 iVDR Edition」のサーバーに、「I-O DATA iVDR-S Media Server」が表示されない

- 本製品およびiVDRが接続されていることを確認してください。
- 「I-O DATA iVDR-S Media Server」が公開となっていることをご確認ください。確認手順は、「I-O DATA iVDR-S Media Server マニュアル」をご参照ください。

準備する

ダビング／ムーブする

再生する

データHDDとして使う

困ったときには

「DiXiM Digital TV 2013 iVDR Edition」で、RECBOX やパソコンに保存されているコンテンツを再生することはできますか？

再生できます。本製品をパソコンに接続した状態でのみご利用いただけます。

準備する

PlayStation 3 などの DTCP-IP 対応機器から「I-O DATA iVDR-S Media Server」を経由して録画番組が表示されない

接続しているネットワークが[パブリック ネットワーク]の場合は、「I-O DATA iVDR-S Media Server」で番組の配信ができません。

コントロールパネルを起動し、[ネットワークとインターネット]→[ネットワークと共有センター]をクリックして、アクティブなネットワークの表示の項目を「ホームネットワーク」または「社内 ネットワーク」へ変更してお試しください。

ダビングノムアップ

再生する

本製品を複数パソコンに接続して、使用することはできますか？

本製品を複数台接続した場合でも、最初に接続した本製品内のコンテンツのみ再生できます。

データHDDとして使う

【コンピューター】内のアイコンをダブルクリックしてもアクセスできない

「I-O DATA iVDR-S Media Server」が動作中で Wooo で録画した番組が保存された iVDR を接続している場合はアクセスできません。

困ったときには

Wooo に本製品を接続すると以下のメッセージが表示される 「このカセット HDD は iVDR 規格に対応していない機器で更新されています。」

本製品をパソコンに接続する時には、パソコンが完全に起動し、かつ「I-O DATA iVDR-S Media Server」が起動している状態でおこなってください。また、本製品をパソコンから取り外す時も、パソコンが起動している状態でおこなってください。

アフターサービス

DiXiM Digital TV 2013 iVDR Edition に関するお問い合わせ

弊社では「DiXiM Digital TV 2013 iVDR Edition」に関するサポートはおこなっておりません。

「DiXiM Digital TV 2013 iVDR Edition」の使い方や不明な点は、株式会社アスクにお問合せください。

問い合わせ方法については、インターネットによるサポートのみとなります。下の「お問い合わせフォーム」よりお問い合わせください。

※ユーザーサポートをご利用いただくには、事前にユーザー登録が必要となります。ご登録いただいていないお客様は、ユーザーサポートをご利用いただけない場合があります。

- お問合せフォーム http://www.ask-support.com/askware/?page_id=373
- メール support@ask-digital.co.jp
- ホームページ <http://www.ask-support.com/askware/>

サポート時間：月～金曜日 10:00～12:00 13:00～17:00

※土日祝日、株式会社アスクのサポートセンター休業日を除く。

準備する

ダウンロードする

再生する

データHDDとして使う

困ったときには

TMPGEnc MPEG Smart Renderer 4 に関するお問い合わせ

弊社では「TMPGEnc MPEG Smart Renderer 4」に関するサポートはおこなっておりません。

「TMPGEnc MPEG Smart Renderer 4」の使い方や不明な点は、株式会社ペガシスにお問合せください。

※ユーザーサポートをご利用いただくには、事前にユーザー登録が必要となります。ご登録いただいていないお客様は、ユーザーサポートをご利用いただけない場合があります。

ペガシスサポートセンター

●電話番号 03-5624-2161

●サポートページ <http://tmpgenc.pegasys-inc.com/ja/support/support.html>

※メールでのお問い合わせは、上記ページのお問い合わせフォームよりお願いします。

サポート時間：月曜～金曜 10:00～13:00 14:00～18:00

※土日祝日、およびペガシス社休日指定日を除く

準備する

ダウンロードする

再生する

データHDとして使う

困ったときには

ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

本製品に関するお問い合わせ

お問い合わせいただく前に、以下をご確認ください



[【よくあるご質問】\(35 ページ\)](#)



[弊社サポートページの Q&A を参照](#)



[最新のソフトウェアをダウンロード](#)



それでも解決できない場合は、サポートセンターへ

<ご用意いただく情報>

製品情報（製品名、シリアル番号など）、パソコンや接続機器の情報（型番、OS など）

パソコンでご使用の場合

電話：050-3116-3020

※受付時間 9：00～17：00 月～金曜日（祝祭日をのぞく）

FAX：076-260-3360

インターネット：<http://www.iodata.jp/support/>

Wooo でご使用の場合

電話：050-3116-3015

※受付時間 9：00～17：00 月～日曜日（年末年始・夏期休業期間をのぞく）

FAX：076-260-3360

インターネット：<http://www.iodata.jp/support/>

準備する

ダウンロードする

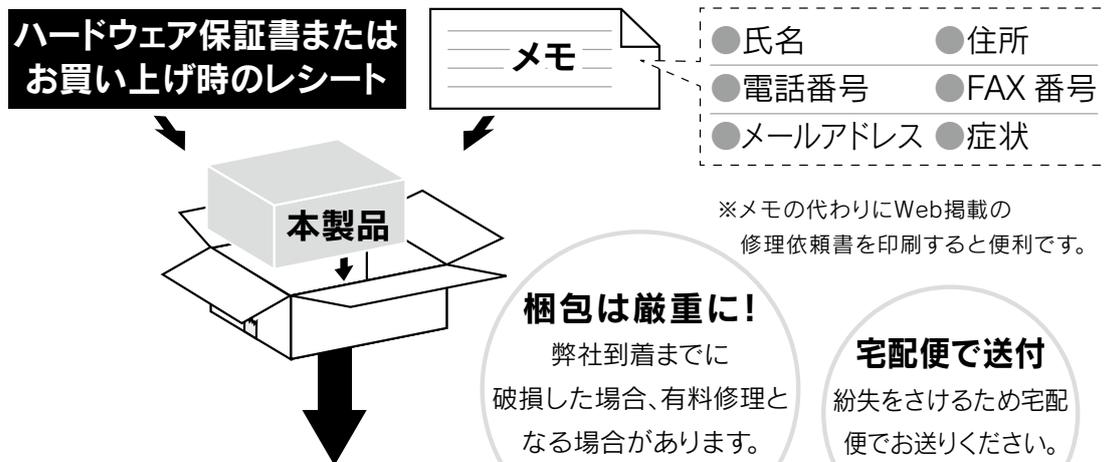
再生する

データHDDとして使う

困ったときには

修理

修理を依頼される場合は、以下の要領でお送りください。



〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

- 送料は、発送時はおお客様ご負担、返送時は弊社負担とさせていただきます。
- 有料修理となった場合は先に見積をご案内いたします。(見積無料)
金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
- 内部にデータが入っている製品の場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。
バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップをおこなってください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
- お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
- 保証内容については、ハードウェア保証規定に記載されています。
- 修理品をお送りになる前に製品名とシリアル番号(S/N)を控えておいてください。

修理について詳しくは… <http://www.iodata.jp/support/after/>

準備する

ダンボール箱を用意する

再生する

データHDDとして使う

困ったときには